

# ボランティアのこころえ

## ○活動にあたって

- ・ 依頼者の気持ちを尊重し、「させていただく」のこころで活動をしましょう。
- ・ チームワークを大切にし、グループ内でよく話し合い、一人で仕事を抱えこまないようにしましょう！

## ○活動先に着いたら

- ・ 「流山市災害ボランティアセンターから来ました」と伝え、依頼者との作業内容の確認をしましょう。
- ・ 作業は午後3時30分までに終了させてもらうことを伝えましょう。
- ・ トイレを利用させてもらう場合があることを事前に依頼者をお願いしておき、利用する時には依頼者に声をかけましょう。

## ○活動中は

- ・ 作業内容が当初と異なる場合や危険が伴う場合、判断に困った場合、ケガをした場合はセンターへ連絡しましょう。(泥の中には細菌が多いので破傷風等の予防のため少しのケガでも大事を取ること。必要に応じ救急車を呼ぶこと。)
- ・ 余震や雨が降ってきた際は活動を一旦中止し、自分自身の安全の確保と体調管理に気を付けましょう！
- ・ 必ず2人以上で行動し、持ち場を離れるときはリーダーに声をかけましょう。
- ・ 活動中に知り得た個人情報などは、守秘義務を守りましょう。
- ・ 「廃棄」と判断する前に、依頼者に確認をとりましょう！
- ・ 体調の管理につとめ、適宜休憩を挟みながら作業しましょう。(1時間に2～3回、10分程度)夏季は熱中症予防のため、こまめな給水に心がけましょう。
- ・ 不調になったら早めに活動をやめる勇気を持ちましょう。けがなどで活動先に負担をかけないようにしましょう！

## ○活動の終了

- ・ 午後3時30分を目処に作業を終了し、午後4時までに災害ボランティアセンターに戻りましょう。(必ず全員で戻りましょう。)
- ・ リーダーの方は活動報告書をご記入ください。  
(作業継続の有無の他、作業先の周辺の状況などで気づいたことも記入して、スタッフにご報告ください。翌日以降の作業につながります。)
- ・ 帰所後は、手洗い・うがいを忘れずにしましょう。

### 【連絡先】

流山市災害ボランティアセンター  
電話 — —

《緊急の場合は119番を！》  
※大ケガや熱中症など緊急の場合は、119番をしてからセンターへ報告してください。